

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	14205
----------	-------

1. 開設大学	広島工業大学	開催方法 (キャンパス・施設)	☒ 対面 (本学) ☐ オンライン (同時・録画)		
2. 科目名	地球環境のふしぎ				
	学問分野	番 号	43	名 称	環境
3. 担当教員	内藤望、岡浩平、小西智久 (環境学部 地球環境学科)				
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 6 年 8 月 5 日 (月) 10 時 40 分 ~ 16 時 10 分 (90 分×3 回)				
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 / 6 回目 /
5. 募集定員	20 人				
6. 科目内容・ 授業計画	<講座内容> 本講座では、「地球環境のふしぎ」をメインテーマとして、様々な地球環境問題を取り上げます。そして、それらの地球環境問題と国連が提唱する「2030 年までに達成すべき持続可能な開発目標 (SDGs)」に関連する諸課題について考えます。「地球科学」、「環境共生」、「環境情報」の各専門分野から体験学習を含めて学びます。 地球科学分野では、地球温暖化による影響の一例として、南極やヒマラヤ山脈における氷河の変化について学びます。SDGs 目標 13 (気候変動に具体的な対策を)に関連しています。 環境共生分野では、開発や外来種の侵入などによって、消失・劣化した森林や海岸の生態系の現状と再生技術について学びます。SDGs 目標 15 (陸の豊さも守ろう)に関連しています。 環境情報分野では、地球環境を理解する上で重要な衛星リモートセンシングの仕組みと環境変動や自然災害の分析技術について学びます。SDGs 目標 9 (産業と技術革新の基盤を作ろう)に関連しています。 <講座計画> 第 1 回 (10:40~12:10): 地球科学分野「地球温暖化と氷河」 第 2 回 (13:00~14:30): 環境共生分野「劣化した生態系の現状と再生技術」 第 3 回 (14:40~16:10): 環境情報分野「地球環境をとらえるリモートセンシング技術」				
7. 受講料	無料				
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし				
9. 開講条件※1 あり・ ☐ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで				
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 筆記用具を持参				
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。				

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。